



年 組 ( )

しおひが  
潮干狩りのシーズンがやってきた。カイトは、トモキと一緒に潮干がりにやって来た。

トモキは<sup>はまべ</sup>浜辺に出るなりさげんだ。

「たくさんって、みんなに分けてあげるぞ！」

つられるようにして、カイトもさげんだ。

「いいね！ よーし、がんばるぞ！」

2人で一生懸命<sup>けんめい</sup>地面をほった。

しかし、どうしたことか、いくらほっても貝は出てこない。

2時間くらいほったところであきらめて、移動<sup>いどう</sup>することにした。

トモキは、<sup>はまべ</sup>浜辺を指さした。

「あその<sup>はまべ</sup>浜辺なんて、とれそうじゃない？」

「でも——。そこは、潮干がり禁止区域だよ。」

「気にしない、気にしない。みんなに喜んでもらうためなんだから。それに、潮が満ちたときに危ないから禁止<sup>きんし</sup>されているだけで、潮が引いている今なら安全さ。」

トモキは<sup>はまべ</sup>浜辺に出てほり始めた。

たちまち、「やっぱりそうだ！ たくさん出てくるぞ！ カイトもおいでよ！」とさげんだ。



カイトは、シャベルをにぎったまま、どうすればいいのかを考えた。

カイトは、どうするべきでしょうか。あなたの考えと理由を書きましょう。

.....
.....

話し合っ考えたことを書きましょう。

.....
.....